



このパンフレットでは、ふたつの川とその流域に国際交流ゆかりの場所をたずね、コミュニケーションにひと役買った意外な一面を紹介します。

国土交通省 荒川下流河川事務所

ワシントン桜をさがして

地図→P8



ポトマック川

ウェストバージニア州北東部を源に、アメリカの首都・ワシントンD.C.中心部を流れ、チェサピーク湾に注ぐ川です。全長は616km、流域面積は大西洋岸で4番目。

コロンビア

ワシントンD.C.

リッチモンド

チェサピーク湾



荒川の「五色桜」が結んだ日米の縁

荒川とポトマック川は姉妹河川

1995(平成7)年、埼玉県熊谷市立文化センターで荒川・ポトマック川姉妹河川提携の調印式が行われました。このふたつの川の縁を結んだのが、荒川の「五色桜」であるということをご存知でしょうか。



ポトマック河畔に咲く桜は、ワシントンの名物となっています



荒川は春ともなれば、桜の名所としてにぎわいます

日本の桜に魅せられたふたりのアメリカ人

明治初期から半ばにかけて、ふたりのアメリカ人が相次いで日本を訪れました。1人はジャーナリストのシドモア女史、もう1人は植物学者のフェアチャイルド博士です。

ふたりはそれぞれ日本の桜に魅せられ、本国にも植えたいと考えました。

博士は、ワシントン郊外に日本の桜を植え、市民に普及活動を行いました。女史は知人でもあった、時のタフト大統領夫人に進言して、外交手段を用いて、日本からの桜の寄贈を実現させようと努力しました。



ポトマック川のほとりに植えられた五色桜(出典「ワシントンの桜」東京都公園協会)



デビッド・フェアチャイルド博士
日本の桜のPRに努め、ワシントン市民の関心を高めました



エリザ・シドモア女史
ポトマック河畔への五色桜植樹の実現に貢献しました

荒川名物「五色桜」、アメリカへ渡る

こうした努力が実り、1909(明治42)年、ついに日本の桜は海を渡りましたが、残念ながら害虫が寄生していたため、焼却処分となってしまいました。

そこで東京市は「五色桜」として有名な荒川堤から木を選定、その苗木3000本を1912(明治45)年に再度寄贈しました。その苗木が植えられたのが、ポトマック川の河畔だったのです。

荒川とポトマック川の姉妹河川提携は、こうした歴史によって実現したものだったのです。



荒川ぞいに咲く里帰り桜—国際交流がつくった花の名所

本家の桜消滅後、約30年を経て里帰りが実現

一方、本家である荒川堤の桜は、その頃衰退の一途をたどっていました。多く進出してきた工場からの排煙や荒川放水路の建設、戦争による燃料不足などにより、1947(昭和22)年にはついに壊滅。しかし、「もとの美しい桜並木を復活させたい」という人々の願いを受けて、1952(昭和27)年、足立区は区政20周年記念に、五色桜の里帰りを実現させました。この時は公害で育ちませんでしたが、さらに30年ほど経った1980(昭和55)年に再度チャレンジ。直接アメリカまで穂木を取りに行き、接木して増やされ、都市農業公園へ植樹。二度目にして見事、成功したのでした。

桜つつみ事業もあいまって、荒川はふたたび桜の名所に

翌年には、建設省(現・国土交通省)と足立区との協働事業として、この里帰り桜を「桜つつみモデル事業」として、足立区堀之内の鹿浜橋緑地公園にも植樹。1991(平成3)年には第3回目の里帰りも実現し、以降荒川ぞいの堤防や公園などに次々と植えられていきました。

このように、荒川が桜の名所として蘇ったのは、100年以上も続いた日米友好の賜物です。そんな歴史に思いを馳せて、春の桜を眺めてみてはいかがでしょうか。



五色桜大橋は、昔このあたりが五色桜の名所だったことからその名が付けました



都市農業公園



五色堤公園



鹿浜橋緑地公園桜つつみ



足立区が2011年に植えた「平成五色桜」。足立区では五色桜の植樹を今後も進めていく予定です

桜が担った国際交流史②

1947	昭和22	明治後半からこの年までに、公害、放水路建設、戦時の燃料不足による伐採等で荒川の五色桜が消滅
1952	昭和27	足立区が区政20周年記念に、米国に五色桜の里帰りを依頼。2年後367本の桜が里帰り(第1回目の里帰り)。しかし自動車公害などによりほとんどが枯れる
1980	昭和55	高速道路建設の際、消えかけていた五色桜を残してほしいという地元の要望により、足立区が江北2丁目の五色堤公園を購入して移植
1981	昭和56	・足立区政50周年記念に、再度米国に桜の里帰り依頼。3000本の穂木を直接取りに行き、34種が里帰り(第2回目の里帰り) ・建設省と足立区との桜つつみモデル事業として、この第2回目の里帰り桜が足立区堀之内の鹿浜橋緑地公園に植樹 ・里帰り桜の話を聞いたレーガン大統領夫人、日米友好のしるしとして桜を寄贈。鈴木俊一東京都知事により「レーガン桜」と命名され、足立区の舎人公園に植樹
1991	平成3	第3回目の里帰り
1994	平成6	建設省桜つつみモデル事業実施(岩淵、川口、小松川)
1995	平成7	ポトマック川と荒川、姉妹河川提携
2012	平成24	五色桜の米国への寄贈から100周年

アクセス DATA

- 都市農業公園 日暮里・舎人ライナー「西新井大師西」駅からコミュニティバスはるかぜで「鹿浜都市農業公園」行き終点下車
- 鹿浜橋緑地公園 JR京浜東北線「王子」駅から都営バス「千住車庫」行きまたは「足立区役所」行き「鹿浜橋」下車、歩いて約5分
- 五色堤公園 日暮里・舎人ライナー「高野」駅から歩いて約10分
- 五色桜大橋 日暮里・舎人ライナー「扇大橋」駅から歩いて約15分

日本にも パナマ運河？

地図→P8



パナマと荒川放水路・岩淵水門との意外な関係



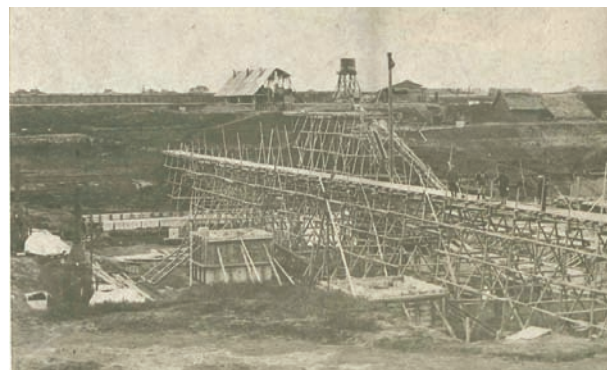
パナマ運河



青山 士(あきら)氏



パナマ時代



岩淵水門は地盤が軟弱であったため、川底を20mも掘り下げて基礎をつくりました



パナマ運河

パナマ共和国のパナマ海峡を開削し、太平洋とカリブ海を結んだ閘門式の運河。1914年に完成。

パナマ運河の建設

パナマ運河の建設が始まったのは1880(明治13)年。しかし黄熱病の流行や資金難などを理由にいったん建設が放棄され、再開されたのは1903(明治36)年、アメリカの主導によるものでした。その後、工事は順調に進められ、完成を見たのは1914(大正3)年のことです。

この建設再開の際に、設計が閘門式に変更したこと、そして1人の日本人が参加していたことが、のちの日本の川づくりに大きな影響を与えることになろうとは、まだ誰も知り得ないことでした。

パナマ運河建設に参加した、唯一の日本人技師

その日本人とは、青山 士(あきら)氏です。氏は大学卒業後、パナマ運河の建設に参加するため単身渡米し、大学教授の推薦を得たのちパナマに赴きました。当初は外国人ということで低い地位からのスタートでしたが、のちにガツン工区の副技師長にまで昇進することとなります。

ガツン閘門の技術が活かされた岩淵水門

1911(明治44)年、帰国した青山氏は、内務省(現・国土交通省、総務省、厚生労働省等の前身)に就職、1915(大正4)年から、すでに従事していた荒川放水路建設の陣頭指揮に立ち、難工事といわれていた岩淵水門の設計を任されることになります。

氏は設計にあたり、パナマ運河のガツン閘門建設で得た知識を発揮し、当時の日本ではまだ珍しかったコンクリート工法を取り入れます。一部変更を余儀なくされましたが、この水門は関東大震災にもビクともせず、パナマ運河で培った青山氏の技術の正しさを証明するものとなりました。



小名木川閘門、中川水門などに活かされた パナマ運河の技術

青山氏が日本に持ち帰った閘門の技術は、他の水門や閘門にも活かされています。荒川放水路建設の際に建造された中川水門、小名木川閘門もその例で、基礎に鉄筋コンクリートの杭が使用されています。



小名木川閘門(1964年に水門に改修されたが後に撤去)



中川水門



青山氏のパナマ運河での知識と体験、技術が活かされた赤水門。現在、その機能は新・岩淵水門(通称「青水門」)に継承されています



「水のエレベーター」もパナマ運河の閘門技術



荒川ロックゲート

2005(平成17)年に完成した荒川ロックゲートは、青山氏が係わったガツン閘門と同じ仕組みでつくられています。

2つの水門の間に船を入れて、水位を人工的に上下させ、水面の高さが違う川を行き来させるこの仕組みは、いわば「水のエレベーター」。これにより、水面差が最大3.1mにもなる荒川と旧中川間の航行が可能となりました。

荒川・隅田川につながる小名木川のちょうど真ん中あたりにある扇橋閘門も、同様の仕組みを持っています。



扇橋閘門

青山氏や荒川のことをもっと知りたくなったら

荒川知水資料館(amoa)

岩淵水門から歩いてすぐの「荒川知水資料館」では、荒川の歴史や水害、環境に関する資料、映像、パネルなどを見ることができます。

青山 士氏の展示コーナーもあり、プロフィールや年表、写真、愛用した品々のほか、映像作品を紹介しています。



青山氏の展示コーナー

パナマ運河博物館と姉妹博物館協定

荒川知水資料館は、2000(平成12)年8月、パナマ運河博物館と姉妹博物館協定を結びました。

これは、青山氏がパナマ運河建設に従事したことを縁として、実現したものです。



双方の館長が姉妹博物館協定書を交換

● 荒川知水資料館 TEL.03-3902-2271

【開館時間】 9:30~17:00 (12~2月は16:30まで/7~9月は17:30まで)
【休館日】 毎週月曜日(祝日除く)・祝日翌日・年末年始



- 岩淵水門・荒川知水資料館
- 荒川ロックゲート
- 中川水門
- 扇橋閘門

東京メトロ南北線「赤羽岩淵」駅または「志茂」駅から歩いて約15分
JR京浜東北線「赤羽」駅から歩いて約20分
都営新宿線「東大島」駅から歩いて約15分
京成押上線「四ツ木」駅から歩いて約20分
都営新宿線「住吉」駅から歩いて約10分

日本のセーヌ・隅田川で フランス発見

地図→P8



隅田川とセーヌ川は、友好河川

セーヌ川

フランス中部のディジョン北西30km地点を源流に、パリを流れセーヌ湾に注ぐ川。全長780kmでフランスで2番目に長く、流域全体がフランスに属しています。



東京都とパリ市の 友好都市提携から始まった「友好河川」

1989(平成元)年、隅田川とセーヌ川は友好河川提携を結びました。これは、1982(昭和57)年、東京都とパリ市の間で結ばれた友好都市提携にちなんで、これを記念して、隅田川ぞいにある中央区の佃公園内

にマロニエの木が植樹されました。隅田川とセーヌ川は、それぞれの国の首都を流れていること、テラスを設け親水性に富んだ川づくりをしている点などに共通点があります。



「隅田川・セーヌ川友好河川」提携の記念として、中央区・佃公園に植樹されているマロニエの木



佃公園

ともに大洪水に遭っている隅田川とセーヌ川

ところで、このふたつの川が1910(明治43)年、奇しくも同じ年に、大洪水に遭っていることはご存知ですか。

セーヌ川の洪水はこの年の1月に起こっています。前年からの多雨と年明けの荒天が重なって氾濫し、メトロに

流れ込み、パリの街を地下からも襲いました。雪解け水が溶け出したことも災いして、川の水位は上昇、あちこちの通りも、観光名所も水に浸かり、パリの街の風景は一変しました。

隅田川の洪水は、その7ヶ月後の8月。台風による記録的な豪雨は、荒川や綾瀬川で堤防の決壊を招き、東京の歓楽街の浅草や、その周辺の下町を含める約22万ヘクタールも浸水させ、被災者は150万人にも及びました。

この洪水を教訓として、翌年から建設が

始まったのが荒川放水路です。一方セーヌ川でも洪水後、4つの貯水池の建設、河岸のかさ上げなど大規模な治水対策が行われました。

このことが友好河川に直接関連しているわけではありませんが、提携のはるか80年前にこうした意外な共通点があったことは、ふたつの川の不思議な縁を感じさせます。



浸水した浅草のようす



パリが沈んだ大洪水

ふたつの都市とふたつの川を結ぶシンボル「メッセンジャー像」

水上バスに乗って、中央大橋の下を通りかかる時、川に向かって立つブロンズ像を見ることができます。

これは、1992(平成4)年に当時のパリ市長・シラク氏から贈られたもので、その説明板には「両都市と両河川をつなぐ友好記念として、パリ市は東京都へ、オシップ・ザッキン作の『メッセンジャー』を寄贈する」と書かれています。



中央大橋は、友好河川提携を縁として、フランスのデザイン会社に設計を依頼。意匠は兜をイメージしています



橋上のメッセンジャー像の背後に、その由来を記した説明板があります



メッセンジャー像は、当時のパリ市長であり、のちにフランスの大統領となったシラク氏からのプレゼント



さらに深まる日仏友好 ふたつの都市と川の友好を未来にもメッセージ

中央大橋をのぞむ石川島公園には、「パリ広場」と名付けられたスペースがあります。

この広場は、日本とフランス両国の友好にちなみ、1999(平成11)年につくられました。隅田川とセーヌ川が友好河川であることから、広場をつくるにあたり、隅田川をのぞむこの公園が選ばれたといいます。

ここに建つモニュメント「友情から未来へ」は子どもたちが手をつなぐようすをモチーフとし、日仏友好のさらなる発展を願って建てられました。土台には日仏の子どもたちの絵が敷き詰められ、両国の友好の未来を描き出しています。



石川島公園内にある「パリ広場」



パリ広場の記念モニュメント「友情から未来へ」



土台に敷き詰められた中央区の小学生とフランス人学校の児童が描いた250枚の絵。日仏友好の未来が生き生きと表現されています

隅田川をセーヌ川に見立て、活動したアーティストたち パンの会

「パン」とはギリシア神話に登場する半獣神で、享楽の神。1908(明治41)年、詩人の北原白秋や画家の石井柏亭らが、東京をパリに、隅田川をセーヌ川になぞらえて新しい芸術を語り合い、文学と美術との交流を図るために興しました。のちに永井荷風や高村光太郎も参加しています。

その活動期間は1913(大正2)年頃までと短期間でしたが、当時の主流だった自然主義に対するロマン主義的な運動として、新しい芸術や文芸に大きな影響を与えました。



アクセスDATA

- 佃公園 東京メトロ有楽町線「月島」駅から歩いて約10分
- 中央大橋・石川島公園 東京メトロ有楽町線「月島」駅から歩いて約15分

川でみつけた 国際交流MAP



国際交流 面白こらむ



荒川・隅田川のほかにもある? 「姉妹河川」「友好河川」



多摩川・兵庫島



友好河川記念碑

多摩川&ドナウ川

多摩川流域の世田谷区とオーストリア・ウィーン市ドゥプリング区は、1985(昭和60)年に結んだ姉妹都市提携をきっかけとして、1986(昭和61)年に「多摩川・ドナウ川友好河川共同宣言」に調印しました。

その翌年には多摩川の「兵庫島」に「多摩川・ドナウ川友好河川記念碑」が設置され、両国の絆を今に伝えています。

北上川&ナイル川

2003(平成15)年に姉妹河川提携を結びました。これは、その2年前に、エジプト特命全権大使カレム氏が岩手県一関市を訪れ、北上川で育まれた河川文化や流域での民間の活動に共感したことがきっかけでした。

以来、市民団体が中心となって、提携にちなんだフォーラムやイベントなどの活動を展開しています。

桜だけじゃない 荒川・隅田川流域から海外へ

イギリスで寓話劇に 謡曲「隅田川」

海外でのタイトルは「CURLEW RIVER」。「都鳥の川」と表現されています。

イギリスの作曲家ブリテン氏が1956(昭和31)年来日した時に謡曲「隅田川」に感銘を受け、教会で上演する寓話劇としてアレンジし、母国に紹介しました。現在ではオペラ化もされ、日本でも上演されています。

パリで披露された 「浅草流鏑馬」

台東区が主催して、毎年隅田河畔で行われている流鏑馬が、1983(昭和58)年、フランスはパリ、エッフェル塔の下でシャンドマルス公園で披露されました。以来1986(昭和61)年、1990(平成2)年にもフランスで流鏑馬が行われています。

アメリカに輸出された 堀切菖蒲園の花菖蒲

今も花の名所として有名な堀切菖蒲園は、すでに江戸時代には浮世絵に描かれるほどでした。明治維新後は、さる大名家から花菖蒲を譲り受けて育て、これに珍しい花などを添えて、アメリカに輸出した、というエピソードが残っています。

ベニスをほうふつ 荒川・隅田川に挟まれた水路網



舟運が重要な交通の足だった江戸時代、現在の荒川と隅田川に挟まれた地域には、多くの堀割がもうけられていました。小名木川、北十間川、横十間川、竪川などは今に残る、そうした堀割の一部です。

水路がはりめぐらされ、舟が行き来する風景が、水の都として名高いベニスにたとえられたという説もあります。

また、東京商工会議所の初代会頭でもあった実業家の渋沢栄一も、この江戸時代からの水路を利用して、東京を「東洋のベニス」にしようという構想を持ったと伝えられます。



横十間川



小名木川

水の街で生まれた アメリカのバービー人形



1959(昭和34)年にアメリカで発売されたバービー人形は、葛飾区四ツ木で製造されていました。本国に比べて人件費が安かったことに加え、このあたりは、セロイド工場や繊維産業が多く、人形本体と衣装をまとめて発注できたからだといわれています。

同じ葛飾区内では、のちにリカちゃん人形やキューピー人形なども製造されるようになりました。世代を超えて今なお愛されている人形たちは、もとは荒川、中川の流域生まれというわけです。

荒川・隅田川流域のまちと 友好都市・姉妹都市

荒川・隅田川流域の多くの自治体では、
海外の都市と友好都市・姉妹都市提携を結び、
国際交流を深めています。



荒川・隅田川流域自治体と友好都市・姉妹都市

2011年10月31日現在

自治体名称	国・地域名	州・省・県等名	提携自治体名	提携年月日
戸田市	中国 オーストラリア	河南省 ニューサウスウェールズ州	開封市 リバプール市	1984/8/21 1992/10/1
板橋区	カナダ 中国 イタリア	オンタリオ州 エミリア・ロマーニャ州	バーリントン市 北京市石景山区 ボローニャ市	1989/5/12 1997/10/8 2005/7/7
北区	中国		北京市宣武区	1993/4/22
足立区	オーストラリア	西オーストラリア州	ベルモント市	1984/10/1
荒川区	オーストリア 大韓民国 中国	済州道 遼寧省	ウィーン市ドナウシュタット区 済州市 大連市中山区	1996/10/21 2006/2/17 2006/3/10
葛飾区	中国 オーストリア		北京市豊台区 ウィーン市フロリズドリフ区	1992/11/12 1987/11/2
墨田区	中国 大韓民国		北京市石景山区 ソウル特別市西大門区	1997/12/13 2003/10/3
台東区	オーストラリア デンマーク オーストリア	ニューサウスウェールズ州 コペンハーゲン州	マンリー市 グラスサックス市 ウィーン市イネレシュタット(第一区)	1982/8/14 2000/4/17 1989/4/5
江戸川区	オーストラリア	ニューサウスウェールズ州	ゴスフォード市	1988/4/19
中央区	オーストラリア	ニューサウスウェールズ州	サザランド市	1991/7/9
江東区	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア州	サレー市	1989/4/20

国を超えたコミュニケーションを
広くPRするために

友好都市・姉妹都市提携を
記念した公園・広場

地図→P8



ベルモント公園（足立区）

赤レンガの建物は、オーストラリアの工芸品などの陳列館。芝生には羊のモニュメントなどもあり、オーストラリアの雰囲気を与えています。

バーリントン広場
（板橋区）

バーリントン市をイメージした針葉樹やカナダ風建築のトイレ、サトウカエデの木、バーリントン市から寄贈された照明灯などが見られます。



ドナウ広場
（荒川区）

命名記念のモニュメントのほか、「ドナウの調べ」と名付けられたブロンズ像が設置され、人々の憩いの場となっています。



アクセスDATA

- ベルモント公園 東武伊勢崎線「梅島」駅から徒歩約5分
- ドナウ広場 東京メトロ千代田線「南千住」駅から徒歩すぐ
- バーリントン広場 JR埼京線「板橋」駅から徒歩約5分

国を超えた共通点

川がつないだ
コミュニケーション

【戸田市 & リバプール市】

市中に大きな川が流れていること、大都市に隣接しているなどの共通点が多くあります。



戸田漕艇場

【台東区 & グラスサックス市】

隅田川でレガッタ競技が行われているように、グラスサックス市でもボート競技が盛んです。2009(平成21)年にはカヌーのワールドカップが開催されました。

【江東区 & サレー市】



舟運が盛んだった横十間川

木材産業や良好な道路・水運環境を利用した物流産業が盛んというサレー市の特徴は、木場や多くの水路があり、舟運が盛んだった江東区と共通しています。